

教 育

1	概 况	401
2	青 少 年 育 成	402
3	学 校 教 育	405
4	图 书 馆	418
5	熊 本 博 物 馆	422

1 概況

少子高齢化、価値観の多様化、経済的格差の拡大など、社会は著しく変化しており、子どもたちを取り巻く環境についても、いじめの社会問題化や少年による重大事件、インターネットを通じたトラブルなど、多くの課題を抱えている。また、家庭や地域の教育力の低下が指摘されている。

このような中、規範意識や社会性、思いやりの心、自立心をはぐくみ、生涯を通して健康で生きがいのある人生を求める意識の高揚とともに、社会の著しい変化に柔軟に対応できる必要な知識・技能の習得と、これらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力などの育成が重要となっている。また、学校はもとより、家庭や地域の教育力を高め、子どもたちの健やかな成長を支える仕組みづくりが求められている。

こうした背景を踏まえ、平成28年3月に策定された熊本市総合計画の基本計画においては、3つのまちづくりの重点的取組のうち、「安心して暮らせるまちづくり」に具体的な取組を掲げて施策の展開を図っている。

教育委員会では、平成28年3月に、本市の教育、文化及びスポーツの振興に関する総合的な目標や施策の基本となる指針として策定された「熊本市教育大綱」をもって熊本市教育振興基本計画に代えることとした。さらに、本基本計画の策定に伴い、平成28年度からは、「熊本市第7次総合計画」との整合性を図りながら、市長が定めた「熊本市教育大綱」の「施策の基本方針」及び「重点的取組」に関連する事業で実施計画を策定し、進捗管理を行っている。

(1) 平成31年度（2019年度）熊本市教育方針

本市教育は、恵まれた自然と先人が築いた伝統文化のもとで、社会の進展に対応する教育を構築しながら、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備え、「徳・知・体」の調和のとれた次代を担う子どもたちの育成に努めるとともに、市民が生涯にわたって、健康で生きがいと潤いのある生活を営むことができる生涯学習社会の実現を目指す。

このような教育を推進するにあたり、学校・家庭・地域社会は、人間尊重の精神を基本にしながら、それぞれの責任と使命を自覚し、連携して取り組むこととする。

(2) 平成31年度（2019年度）年度教育目標

- ◎人権尊重の理念のもと、学校・家庭・地域社会における様々な教育活動を通して、社会全体で子どもたちの「社会を生き抜く力」を育成する。
- ◎多様な教育機能の整備・充実を図り、歴史的文化遺産を継承し、市民の生涯にわたる自発的な学習活動を奨励・支援する。

(3) 熊本市教育振興基本計画（熊本市教育大綱）（平成28～31年度）

基本理念

徳・知・体の調和のとれた人づくり ～教育都市くまもとを目指して～

(4) 取組の方向

- 1 徳・知・体の調和のとれた教育の推進
- 2 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進
- 3 安全で良好な教育環境の整備
- 4 学校教育と福祉の連携の推進
- 5 生涯を通して学び、その成果を地域に活かすことができる環境の整備
- 6 豊かな市民生活を楽しむための文化の振興
- 7 生涯を通して健康に過ごすためのスポーツの振興

(5) 重点的取組

- 1 いのちを大切にする心の教育の充実と、いじめや不登校への細やかな対応
- 2 確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進
- 3 教員が子どもと向き合うための体制の整備
- 4 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

2 青少年育成（青少年教育課）

心豊かなたくましい青少年を育むため、社会参加活動への支援や青少年育成環境の整備を進める。特に児童育成クラブの充実など、放課後児童対策を強化するとともに、多様な青少年問題に対応するため、青少年センター活動の中で非行防止活動や広報啓発活動を充実させる。

(1) 青少年健全育成推進事業

「生きる力」を備えた青少年の健全な育成が図られるよう、地域における青少年の活動を支援するとともに支援体制を整える。

ア 熊本市青少年問題協議会

熊本市青少年問題協議会は、地方青少年問題協議会法に基づく本市の附属機関として設置。青少年問題全般に関する協議を行うとともに、関係行政機関相互の情報共有を行う。事務局は本市青少年教育課に置く。

委員構成	市長・市議会議員・教育委員会委員・学識経験者・関係行政庁職員
任期	在職期間（但し学識経験者は2年）
事業内容	協議会の開催

イ 熊本市青少年指導員協議会

熊本市青少年指導員協議会は、熊本市教育委員会から委嘱を受けた青少年指導員によって、自らの資質の向上と連携の強化を図るため、平成元年5月に自主的に結成された任意団体。

(2) 児童育成クラブ

目的	放課後児童（保護者が労働等により昼間家庭にいない児童）とその保護者に対し、児童育成クラブを開設し、児童の健全育成及び仕事と子育ての両立を支援する。
開設日	4月1日～翌年3月31日（日曜日・国民の祝日・年末年始を除く）
開設時間	平日：児童の下校時間～午後6時 土曜日及び長期休業期間：午前8時～午後6時
支援員	508名（令元. 5.1現在）
巡回指導員	15名（令元. 5.1現在）
開設状況	（公営）80箇所6,140名（民営）15箇所663名（令元. 5.1現在） ※開設時間、支援員、巡回指導員については、各民営クラブにより異なる。

(3) 青少年センター活動

ア 業務内容

街頭指導、関係機関及び団体との連携、青少年非行防止に関する啓発活動、青少年指導にかかる調査及び資料収集、青少年に有害な影響を与える環境の浄化、その他青少年非行防止のための必要な事項。

イ 青少年指導員

（令1年5月1日現在）

区分	内 訳	人 員（人）
民間	校区青少年健全育成協議会の推薦	230
学校	小学校 中学校 高等学校 専修学校の推薦	284
計		514

ウ 指導状況

① 実施状況

街頭指導実施状況	年 度	H26	H27	H28	H29	H30
年間街頭指導実施回数（回）		885	888	831	902	934
従事した青少年指導委員延人員（人）		4,395	4,341	3,925	4,038	4,404
指導した青少年の総数（人）		4,195	3,397	1,898	1,772	2,774

② 学職別・行為別指導状況

(単位 人)

学職別	行為別	喫煙	怠学	遊技施設内 声かけ指導	交通指導	帰宅指導	その他	計
	年度							
小学生	H28	-	-	62	5	100	3	170
	H29	-	-	79	6	38	1	124
	H30	-	1	87	-	18	19	125
中学生	H28	7	1	180	6	128	10	332
	H29	-	2	286	20	84	10	402
	H30	2	-	367	1	52	15	437
高校生	H28	12	6	946	16	212	90	1,282
	H29	-	8	794	41	236	40	1,119
	H30	3	35	1,940	28	140	30	2,176
その他	H28	-	-	82	17	2	13	114
	H29	-	-	72	25	18	12	127
	H30	7	-	9	18	2	-	36
計	H28	19	7	1,270	44	442	116	1,898
	H29	-	10	1,231	92	376	63	1,772
	H30	12	36	2,403	47	212	64	2,774

エ 小学校生徒指導協議会・中学校生徒指導委員会・高等学校生活指導連盟との連携

熊本市小学校、中学校、高等学校における児童・生徒の指導を目的とした調査、研究、連絡調整等を行う教職員組織との相互連携による生徒指導活動を展開する。

オ 家庭環境づくりの啓発事業（健全育成懇談会～地域で育てる青少年～）

“非行防止は家庭から”“家庭づくりは親子の対話から”と言われるように、家庭のあり方が青少年に与える影響は大きなものがある。家庭における子どもの問題を中心に考えながら青少年の健全な育成と明るい家庭づくりについての話し合いの機会をもつために講師、助言者を派遣する。

(4) 家庭教育の推進

家庭の教育力向上のため、保護者等を対象にした家庭教育の大切さについて啓発するための学習機会や、情報を提供している。

ア 家庭教育セミナー

家庭教育力の向上のため、主に小・中学生の子どもを持つ保護者を対象に、子どもたちの持つ悩みや子どもとの接し方、また社会的ルールやしつけ等を学ぶ講座を実施している。小中学校やPTAとの連携により、保護者の多く集まる機会等を捉えた開催に努めている。

イ 家庭教育地域リーダー養成講座

PTAや地域活動に積極的に取り組んでいる方を対象に家庭教育地域リーダー養成講座を開催し、地域の核となって家庭教育を推進するリーダーを育成する。

(5) 青少年教育

子どもたちが様々な野外体験活動等を通して、「生きる力」を育むことができるよう青少年活動（野外活動等）の安全で教育的効果の高い青少年活動を推進する。

ア 青少年教育施設

恵まれた自然環境の中で、集団生活を通じて青少年の健全な育成を図るために、小中学校の集団宿泊や青少年団体等を受け入れるとともに主催事業を行う。なお、全棟（体育室を除く）にわたる屋根の不具合に伴い、平成31年度の受け入れを4月15日から中止した。

① 金峰山少年自然の家

所在地 西区池上町3071-5

開設年月日 昭和50年10月1日

定員 200人

施設内容 宿泊棟（児童用23室・引率者用2室・バリアフリー1室・バリアフリー浴室）
研修室・体育室・食堂・浴室・保健室・事務室・つどいの広場・野外炊飯場
屋外多目的ハウス

利用状況

(平成31年4月1日現在)

年度 団体名	H26		H27		H28		H29		H30	
	団体数	延人員 (人)	団体数	延人員 (人)	団体数	延人員 (人)	団体数	延人員 (人)	団体数	延人員 (人)
小学校	96	23,322	87	22,156	87	13,667	70	16,736	78	20,891
中学校	3	262	10	1,670	3	340	2	240	3	308
少年団体	32	2,769	20	1,397	7	719	17	1,148	20	1,221
その他の団体	7	2,146	18	4,200	5	2,506	13	4,015	9	2,818
主催事業	15	1,684	12	1,048	6	338	9	760	11	1,012
合計	153	30,183	147	30,471	108	17,570	111	22,899	121	26,250
稼働率(%)	78.8		77.3		66.5		60.7		67.1	

(注) 稼働率(%) = (利用日数/開所日数) × 100

(6) 青少年の交流

国内外の友好姉妹都市との間で、青少年の交流活動を通して、両市の友好と親善を深める。

ア 国際交流（平成30年度）

① 熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業（派遣）

期間 平成30年7月27日～8月5日（9泊10日）

団員 19人（高校生団員15、役職員4）

イ 国内交流（平成30年度）

① 熊本市・福井市小学生交流事業

期間 (受入) 平成30年8月2日～5日（3泊4日）

(派遣) 平成31年1月11日～14日（3泊4日）

団員 16人（小学生団員12、役職員4）

3 学校教育

現在、いじめの社会問題化、少年による重大事件、インターネットを通じたトラブルなど、子どもたちを取り巻く環境は、憂慮すべき状況になっている。

このような中で、今求められているのは、子どもたち一人一人が「豊かな心」を育み、「確かな学力」を身に付け、「健やかな体」を育む教育、グローバル化の進展や情報ネットワーク社会の到来など社会の変化に対応した教育、さらには、子どもたちが社会の変化に柔軟かつ積極的に対応しながら、より一層、一人一人の個性、能力を最大限に伸ばす教育を進めていくことなどである。

そこで、以上のような視点を踏まえ、子ども一人一人の個性を生かしながら、豊かな人間性や創造性を育むきめ細かな教育を推進するため、平成28年3月に策定した「熊本市教育振興基本計画」に基づき、具体的な施策の展開を図っていく。

また、平成30年3月「学校改革！教員の時間創造プログラム」を策定し、教職員が心身ともに健康で、ゆとりを持って子どもたちと向き合える環境をつくっていくために、教職員の長時間勤務の実態改善に向けた取組を総合的かつ計画的に推進している。

平成31年度（2019年度）の主な事業は次のとおりである。

徳・知・体の調和のとれた教育の推進

- ・豊かな心を育む教育の推進（道徳教育創業支援事業、心の教育・体験学習 他）（指導課）
- ・確かな学力を育む教育の推進（教育の情報化推進経費※1、外国語教育推進経費※2、高校改革関連経費※3 他）（指導課、教育センター、教育政策課）
 - ※1 教育の情報化推進経費
令和2年度（2020年度）から全面実施となる新学習指導要領では、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現に向けた授業改善や、プログラミング教育の導入が求められており、これらを実現するため、平成30年度から3ヶ年で電子黒板や実物投影機・タブレット端末といった教育におけるICT環境整備を全小中学校で進めている。
 - ※2 外国語教育推進経費
外国語指導助手（ALT）の増員し、グローバル化に対応した新たな英語教育の在り方を実現するための体制を整備する。
 - ※3 高校改革推進経費
検討委員会を設置し、市立高校及び市立総合ビジネス専門学校等の今後の在り方の検討などを行う。
- ・健やかな体を育む教育の推進（子どもの健康づくり・体力向上推進経費、学校給食・食育推進事業、夏休みプール開放事業経費、いのちを守る教育推進経費、国際スポーツ大会学校応援等経費 他）（健康教育課）

子ども一人ひとりを大切にする教育の推進

- ・教員が子どもと向き合う時間の拡充（学校教育コンシェルジュ設置経費、学級支援員派遣経費、部活動指導員配置事業 他）（総合支援課、健康教育課）
- ・教育相談体制の充実（いじめ・不登校対策経費、スクールソーシャルワーカー（SSW）配置事業、スクールカウンセラー（SC）配置事業 他）（総合支援課）
- ・特別支援教育の推進（特別支援教育担当者スキルアップ派遣事業、特別支援学校建設事業 他）（総合支援課、施設課）

安全で良好な教育環境の整備

- ・最適な学習環境の整備（義務教育施設整備事業、施設整備経費、維持補修経費 他）（施設課）

生涯学習社会の構築

- ・図書館・博物館の機能充実（特別展等開催経費、図書館施設整備経費 他）（博物館、図書館）

(1) 市内学校数 (学務課)

(令 1.5.1 現在)

区分	校種別	大 学	短 大	高 校	特別支援 学 校	中 学	小 学	幼	合計
国		1			1	1	1	1	5
県		1		11	4				16
市				2	1	42 (1)	92	6	143 (1)
私		6	1	14		9		24	54
合 計		8	1	27	6	52 (1)	93	31	218 (1)

(注) () は分校の数を別掲 区分中の「国」は独立行政法人(旧国立熊本大学)

(2) 市立学校児童生徒数 (教職員課)

校種別	区 分	学校数	学級数	児童生徒	教員数
幼 稚 園		6	20	282	43
小 学 校		92	1,636	40,922	2,478
中 学 校		42 (1)	690	18,932	1,356
高 等 学 校		2	42	1,643	115
特別支援学校		1	9	67	29
専 修 学 校		1	7	129	11
合 計		144 (1)	2,404	61,975	4,032

(注) () は分校の数

(令 1.5.1 現在)

(3) 児童生徒数の変遷 (教職員課)

区分	年度	H27	H28	H29	H30	R1
児 童 生 徒 数	小学校	40,790	40,236	40,747	41,045	40,922
	中学校	20,271	19,854	19,574	19,077	18,932

(各年度 5.1 現在)

(4) 学校施設の現況 (施設課)

ア 小学校施設の現況

(令 1.5.1 現在)

番号	学校名	児童数	教員数	学級数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)	校庭夜間 照明施設 開設年月
					校舎	屋内運動場		
1	壺川	400	22	15	4,341	594	9,104	
2	碩台	145	13	8	3,610	594	12,093	
3	白川	452	25	18	4,288	919	12,908	
4	城東	209	15	9	4,444	725	15,397	
5	慶徳	137	23	12	4,268	919	6,563	
6	一新	381	24	16	4,345	725	12,615	
7	五福	255	19	12	3,158	804	6,682	昭 52.10
8	向山	483	28	18	4,123	725	16,652	
9	黒髪	458	31	16	5,477	796	10,472	
10	大江	653	34	23	4,544	725	11,724	
11	本荘	48	12	7	4,083	894	11,533	
12	春竹	505	34	21	5,444	1,049	15,465	
13	古町	122	13	7	2,840	532	11,184	
14	春日	255	17	13	4,349	725	14,224	昭 49. 9
15	城西	700	39	25	6,311	1,170	20,277	昭 60. 9
16	花園	405	20	14	4,893	945	17,199	昭 57.10
17	池田	461	24	18	4,962	594	12,569	
18	出水	447	24	16	4,657	826	11,682	
19	白坪	491	30	19	5,658	945	16,004	
20	画図	1,020	48	35	6,775	919	17,278	昭 54.10
21	砂取	476	28	19	4,686	1,119	18,074	
22	健軍	589	46	25	6,930	945	25,678	
23	清水	524	34	22	5,741	1,036	16,849	昭 49. 9
24	日吉	416	28	17	5,453	976	15,199	昭 55. 4
25	川尻	505	26	19	5,184	1,049	22,553	昭 60. 9
26	力合	550	31	21	5,001	594	16,836	昭 60. 4
27	御幸	607	31	23	4,939	1,039	18,787	昭 52.10
28	田迎	481	25	19	4,619	1,203	13,513	昭 62. 3
29	高橋	108	10	6	1,912	666	7,271	
30	池上	247	17	12	3,705	919	16,088	平元 . 5
31	城山	721	39	26	5,347	924	24,427	昭 57. 4
32	託麻原	674	34	23	6,555	1,049	21,748	
33	秋津	546	28	20	4,933	923	16,104	
37	泉ヶ丘	380	22	15	4,801	919	18,362	
38	小島	254	24	15	2,856	1,093	12,462	
39	龍田	637	34	25	5,633	850	14,556	昭 62. 8
40	帶山	779	47	28	6,156	1,069	20,252	
41	中島	235	16	11	3,060	532	13,529	
42	白山	547	30	21	5,038	1,049	20,199	
43	若葉	388	23	15	4,619	1,049	18,784	
44	城北	473	31	20	5,422	1,017	18,958	昭 60. 9
45	尾ノ上	718	41	27	5,923	792	21,434	昭 55.11
46	西原	688	40	25	5,215	792	19,084	昭 49. 9
47	高平台	615	34	23	5,370	945	26,678	昭 49. 9
48	楠	257	20	12	6,325	802	18,318	
49	託麻東	1,069	55	37	5,344	725	25,225	
50	託麻西	856	46	32	6,589	945	18,873	昭 52.10

番号	学校名	児童数	教員数	学級数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)	校庭夜間照明施設開設年月
					校舎	屋内運動場		
51	託麻北	535	30	21	4,126	920	15,971	昭60.4
52	桜木	448	28	18	6,361	725	20,806	昭49.9
53	東町	529	39	23	5,945	1,436	20,272	昭54.10
54	麻生田	457	29	18	5,221	945	20,193	
55	武蔵	409	22	15	4,971	945	18,102	
56	帯山西	593	30	21	4,319	725	17,965	
57	月出	482	29	20	5,916	945	24,258	昭55.11
58	出水南	795	40	27	6,005	945	16,287	
59	健軍東	287	18	13	5,960	725	21,385	昭58.3
60	城南	285	21	13	3,978	725	22,633	昭57.12
61	田迎南	770	41	29	4,170	725	25,702	昭58.3
62	弓削	300	20	14	3,012	695	18,594	昭58.3
63	託麻南	957	49	33	7,073	725	21,601	昭60.4
64	山ノ内	571	29	21	5,535	724	28,949	昭61.10
65	榆木	525	31	20	3,824	918	18,859	
66	川上	572	34	23	4,667	745	24,479	
67	西里	342	24	17	4,375	1,161	35,546	平22撤去
68	北部東	699	38	27	4,976	1,337	19,179	
69	芳野	77	12	8	1,993	797	13,124	
70	河内	140	12	7	2,890	862	12,417	昭49.3
71	飽田東	519	29	21	3,196	680	12,155	
72	飽田南	176	14	9	1,420	680	11,835	
73	飽田西	159	12	7	853	680	12,072	
74	中緑	48	9	6	1,560	401	9,738	
75	銭塘	105	13	8	2,179	378	12,246	
76	奥古閑	140	12	7	3,167	680	13,329	
77	川口	53	9	6	2,273	420	12,066	
78	長嶺	1,037	52	37	6,326	1,049	24,672	平17.4
79	日吉東	472	26	19	3,799	919	26,118	
80	桜木東	565	32	21	3,456	919	26,103	
81	富合	737	39	26	3,924	919	22,239	
82	杉上	352	23	15	3,616	802	25,000	
83	隈庄	727	43	27	4,466	800	15,151	
84	豊田	228	17	10	3,469	800	23,084	
85	植木	423	28	15	3,611	919	20,728	
86	山本	81	11	7	2,582	797	14,595	
87	田原	93	15	8	2,607	797	23,182	
88	菱形	239	19	11	3,970	920	22,793	
89	桜井	282	21	13	4,090	920	24,413	
90	山東	187	14	8	3,320	922	22,154	
91	吉松	165	14	8	3,425	919	16,267	
92	田底	108	13	8	2,723	541	14,577	昭52.6
93	田迎西	671	36	25	6,057	1,226	22,285	
94	力合西	650	33	23	4,711	1,199	33,342	
95	龍田西	565	33	23	6,333	1,201	23,029	
	合計	40,922	2,478	1,636	412,376	79,359	1,660,961	

イ 中学校施設の現況

(令 1.5.1 現在)

番号	学校名	児童数	教員数	学級数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)	校庭夜間 照明施設 開設年月
					校舎	屋内運動場		
1	出水	874	51	27	7,386	1,322	25,654	昭 48.10
2	白川	556	33	19	6,140	1,222	28,765	昭 48.10
3	藤園	284	31	16	5,601	1,138	22,788	昭 48. 4
4	花陵	459	33	17	5,957	994	20,331	昭 48.10
5	城南	394	28	14	6,038	1,138	24,459	昭 47.10
6	京陵	694	44	24	7,673	1,222	29,457	昭 48. 4
	清水が丘分校	5	9	1			26,094	
7	西山	494	33	18	6,225	1,463	29,968	昭 49.10
8	江南	220	19	9	3,519	1,138	23,240	昭 48. 4
9	江原	282	27	12	4,433	981	25,360	昭 49.10
10	竜南	328	24	13	4,870	981	18,629	昭 48.10
11	桜山	144	16	6	4,394	981	19,596	昭 48. 4
12	湖東	409	34	17	5,759	1,138	28,502	昭 47.10
13	託麻	975	58	31	6,847	1,222	24,430	昭 48.10
14	三和	543	38	19	4,715	981	21,813	昭 48. 4
15	城西	211	19	9	4,188	779	13,784	昭 48.10
16	帯山	936	58	29	5,556	1,277	25,675	昭 48. 4
17	東野	466	30	17	0	1,222	19,304	昭 48.10
18	錦ヶ丘	831	57	29	6,934	1,476	20,062	昭 48.10
19	二岡	436	30	16	4,409	770	23,580	昭 48. 4
20	東部	405	29	17	4,704	734	21,422	
21	楠	397	25	13	6,939	724	24,570	平 20. 3
22	西原	642	45	22	6,943	1,124	29,588	
23	武蔵	378	29	14	4,864	780	22,407	昭 56. 6
24	東町	384	27	14	7,622	1,020	21,500	昭 58. 3
25	出水南	588	38	20	4,794	780	27,592	昭 58. 3
26	清水	508	35	20	6,294	1,222	22,702	
27	井芹	287	24	11	5,313	981	29,318	
28	北部	646	44	22	5,815	1,261	25,944	平 19.10
29	芳野	32	13	4	2,458	910	31,550	昭 55. 5
30	河内	60	14	4	2,993	2,007	15,238	昭 49. 3
31	飽田	332	25	12	3,730	1,280	15,260	
32	天明	180	17	8	3,918	1,133	22,867	
33	長嶺	943	56	30	7,165	1,221	41,148	
34	力合	495	34	18	4,449	981	30,006	
35	龍田	602	37	21	5,056	981	27,384	平 18. 4
36	日吉	399	30	16	5,035	981	30,581	平 17. 4
37	桜木	515	29	17	5,752	981	26,307	
38	富合	282	25	13	4,141	1,368	31,915	昭 58. 8
39	下益城南	558	38	20	6,894	1,772	28,777	
40	鹿南	313	27	12	5,178	981	28,885	
41	五霊	307	26	12	4,193	1,032	25,798	
42	植木北	138	17	7	3,293	984	26,209	
	合計	18,932	1,356	690	218,187	46,683	1,078,459	

※清水が丘分校の保有面積については、借用地のみ記載。

ウ 幼稚園施設の現況

(令 1.5.1 現在)

番号	園 名	園児数	教員数	学級数		園舎保有面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
				通常	通級		
1	碩 台	22	8	3	3	817	1,272
2	一 新	41	5	3		914	3,143
3	向 山	45	10	3	7	889	2,943
4	川 尻	42	8	3	3	788	2,380
5	楠	41	5	3		595	2,197
6	隈 庄	91	7	5		875	3,341
合 計		282	43	20	13	4,878	15,276

※ 碩台幼稚園 教員数には、ことばの教室の3人が含まれる。

※ 向山幼稚園 教員数には、ことばの教室の7人が含まれる。

※ 川尻幼稚園 教員数には、あゆみの教室の3人が含まれる。

エ 高等学校

市立必由館高等学校概要

創立108年という長い歴史と伝統を持つ高等学校であり、平成13年には学科改編と校名変更を行い、1学年普通科9クラス（普通科6、国際コース1、芸術コース1、服飾デザインコース1）編制となった。

多様化する生徒の進路希望に対応して、選択授業や少人数学習などを取り入れ、大学進学を目指した教育課程を編成するとともに、多彩な芸術・文化活動、体育活動にも力をいれており、輝かしい成果を残している。正しい判断力と真摯な実践力を身に付けるとともに、国際社会や地域社会に貢献できる人間性豊かな人材の育成に取り組んでいる。

市立千原台高等学校概要

商業高校としてスタート以来63年目を迎えた高等学校であり、平成12年には学科改編と校名変更を行い、1学年普通科2クラス（国際経済コース1、健康スポーツコース1）、情報科3クラス（OA会計コース2、経営情報コース1）の二つの学科を持つ高校となった。

普通科においては、大学や専門学校など、コースの特性を生かして上級学校への進路希望の実現を図るとともに、情報科においても生徒のニーズに応じて、進学、就職に対応できるよう、専門教育を中心にした学習内容の充実に取り組んでいる。また、ハンドボールや陸上競技、自転車競技などスポーツの伝統校でもある。

施設の概要

(令 1.5.1 現在)

番号	学 校 名	生徒数	教員数	学級数	建 物 保 有 面 積 (㎡)		校地面積 (㎡)
					校 舎	屋内運動場	
1	必 由 館	1,069	68	27	14,504		46,219
2	千 原 台	574	47	15	7,071	3,774	55,434
合 計		1,643	115	42	21,575	3,774	101,653

オ 特別支援学校

平成さくら支援学校概要

平成29年4月に開校した知的障がいのある生徒を対象とする特別支援学校高等部である。普通科・一般学級を設置しており、1学年3学級編制である。

「自立・夢・挑戦」を校訓とし、夢を育み、何事にも挑戦していく生徒の育成をめざし、卒業後の自立と社会参加に向けて、家庭や地域と連携して、一人ひとりの教育的ニーズに対応した教育を進めている。

本市における特別支援教育の充実に向け、学校を含む関係機関や保護者に対して、研修及び教育相談等の拠点機能を担っている。

施設の概要

(令 1.5.1 現在)

学校名	生徒数	教員数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)
			校舎	室内運動場	
平成さくら支援学校	67	29	4,746	971	21,602

カ 専修学校

総合ビジネス専門学校概要

昭和24年に創立して71年目を迎える。平成3年に新町段山校舎より上熊本の現在地に移転した。建学の精神は「無名にして有力 役に立つ人間」。卒業生は8,200名を超え地元企業でなくてはならない存在として活躍している。全国に2校しかない「商業系公立専門学校」で就職率は高く地域に貢献している。

総合ビジネス科(昼間学科2年専門課程)は、情報ビジネス、経理ビジネス、観光サービスの3コースがあり、情報・簿記・観光に関する「社会のニーズに応えるビジネス実務教育」と、ビジネスマナー・教養・熊本地域経済等の「社会人としての人間教育」をめざしている。卒業時に「専門士」の称号を得て、短大卒と同等の待遇を受ける。

OA経理科(夜間等学科1年一般課程)は、簿記と情報のビジネス実務教育を行う。専門的知識や技能の修得を通して生涯学習を楽しむ方や、企業に貢献することをめざす方が学ぶ。

施設の概要

(令 1.5.1 現在)

学校名	生徒数	教員数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)
			校舎	屋内運動場	
総合ビジネス専門学校	129	11	3,727		4,399

キ 校舎の整備状況

(令 1.5.1 現在)

区分	校舎面積 (㎡)				普通教室数				特別教室数				
	学校数	基準面積	保有面積	過不足面積	学校数	基準数	保有数	過不足数	学校数	基準数	保有数	過不足数	
小学校	基準未満	54	277,492	229,979	△ 47,513	44	977	844	△ 133	33	340	245	△ 95
	基準以上	38	158,849	182,397	23,548	48	704	714	10	59	550	764	214
	合計	92	436,341	412,376	△ 23,965	92	1,681	1,558	△ 123	92	890	1,009	119
中学校	基準未満	25	153,369	123,965	△ 29,404	22	406	326	△ 80	12	167	110	△ 57
	基準以上	18	82,570	94,222	11,652	21	292	295	3	31	402	546	144
	合計	※ 43	235,939	218,187	△ 17,752	※ 43	698	621	△ 77	※ 43	569	656	87

※学校数は分校を含む

ク 屋内運動場の整備状況

(令 1.5.1 現在)

区 分		学 校 数	基 準 面 積 (㎡)	保 有 面 積 (㎡)	過 不 足 面 積 (㎡)
小 学 校	基 準 未 満	76	84,219	63,077	△ 21,142
	基 準 以 上	16	15,492	16,282	790
	合 計	92	99,711	79,359	△ 20,352
中 学 校	基 準 未 満	32	40,810	31,543	△ 9,267
	基 準 以 上	11	13,194	15,140	1,946
	合 計	※ 43	54,004	46,683	△ 7,321

※学校数は分校を含む

(5) 特別支援学級設置状況 (総合支援課・教職員課)

(令 1.5.1 現在)

区 分	小 学 校			中 学 校			合 計		
	学級数	児童数	教員数	学級数	児童数	教員数	学級数	児童数	教員数
知的障害学級	115	612	159	50	230	68	165	842	227
自閉症・情緒障害学級	115	613	166	67	370	93	182	983	259
肢体不自由学級	20	29	23	14	15	15	34	44	38
院内学級	4	12	6	4	12	5	8	24	11
病弱学級	17	22	19	9	10	9	26	32	28
弱視学級	4	4	4	0	0	0	4	4	4
難聴学級	11	20	12	6	8	6	17	28	18
合 計	286	1,312	389	150	645	196	436	1,957	585

(6) 中学校卒業者の進路状況 (指導課)

(令 1.5.1 現在)

進路別		区 分	男	女	合計	比率 (%)
卒 業 生 総 数			3,371	3,198	6,569	100
進 学 者	高 等 学 校 の 本 科	全 日 制	3,153	3,051	6,204	94.44
		定 時 制	26	12	38	0.58
		通 信 制	87	99	186	2.83
	高 等 専 門 学 校	65	21	86	1.31	
	合 計	3,331	3,183	6,514	99.16	
専修学校・各種学校 公共職業訓練施設等			12	1	13	0.2
就職者(含自家営業)			11	4	15	0.23
無 業 者			3	2	5	0.08
未 定			14	8	22	0.33

(7) 熊本市奨学金制度 (学務課)

ア 目的 経済的理由により修学が困難な学生・生徒に対して、奨学金を貸し付け、社会に貢献し得る人材を育成する。

イ 貸付要件 次の要件をすべて満たす者

- ・熊本市に居住する者の被扶養者であること。
- ・学校教育法に規定する学校等（高校、高専、大学、短大、専修学校の高等課程及び専門課程）に在学していること。
- ・経済的理由により修学が困難であると認められること。
- ・国、他の地方公共団体若しくはその他の団体からの奨学金（貸付けによるものに限る。）又はこれと同種の貸付けを受けていないこと。

ウ 貸付金額及び定数

区 分	定数 (人)	種別	貸付月額	自宅外通学生 加算額 (月額)	第1学年加算額 (初回のみ)
高等学校 高等専門学校 専修学校 (高等課程)	380	国・公立	18,000 円 30,000 円	—	50,000 円 100,000 円
大学 短期大学 専修学校 (専門課程)		国・公立 私 立	42,000 円 51,000 円	6,000 円 10,000 円	150,000 円 200,000 円

注1 加算は、申請に基づき付加する。

注2 申請により、貸付月額を2分の1に相当する額に減額することができる。

エ 貸付期間 在学する学校等の正規の修学年限

オ 返 還 奨学金の貸付終了後、決められた期間内で、貸し付けを受けた総額を年賦・半年賦・月賦のいずれかの方法で返還する。(無利子)

(8) 就学援助費 (学務課)

経済的理由によって就学困難と認められる児童及び生徒について、就学に必要な費用を援助することにより、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。

認定率・援助総額の推移

年度		H26		H27		H28		H29		H30	
区分											
児童生徒数 (人)	小学校	40,934	61,266	40,790	61,061	40,236	60,090	40,747	60,321	41,045	60,122
	中学校	20,332		20,271		19,854		19,574		19,077	
認定者数 (人)	小学校	5,715	9,126	5,889	9,365	6,093	9,532	6,005	9,326	5,785	8,981
	中学校	3,411		3,476		3,439		3,321		3,196	
認定率 (%)	小学校	14.0	14.9	14.4	15.3	15.1	15.9	14.7	15.5	14.1	14.9
	中学校	16.8		17.1		17.3		17.0		16.8	
援助総額 (千円)	小学校	400,147	767,092	413,238	786,511	417,805	796,248	428,111	807,297	423,597	798,354
	中学校	366,945		373,273		378,443		379,186		374,757	

平成30年度支給実績

(単位 円)

	小 学 校		援助総額	中 学 校		援助総額
学用品費等	1 年	12,990	83,125,813	1 年	24,590	81,631,498
	2 ~ 6 年	15,220		2・3 年	26,820	
補助教材費	2・5・6 年	4,000	19,708,985	2 年	4,400	9,561,104
	3・4 年	4,300		3 年	4,700	
新入学児童生徒学用品費	40,600 31年度入学前支給 50,600		35,249,800	47,400 31年度入学前支給 57,400		57,101,850
修学旅行費	実	費	22,764,233	実	費	58,364,523
通学費	実	費	35,860	実	費	51,020
医療費	実	費	5,984,557	実	費	2,210,423
学校給食費	実	費	251,481,850	実	費	158,416,861
校外活動費	実	費	5,245,760	実	費	7,420,267
合 計			423,596,858			374,757,546

(9) 私学助成 (学務課)

(単位 千円)

区分 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30
高等学校 中学校	31,251	31,529	29,999	29,999	29,999

(10) 国際交流の推進

アメリカ合衆国サンアントニオ市(姉妹都市)との交換留学制度(教育政策課)

ア 熊本市からの派遣(平成30年度)

派遣人員	在籍校	派遣先
高校生 4名	熊本市立必由館高等学校 熊本市立千原台高等学校	セントアンソニーカトリック高校 インターネットワーク高校

イ サンアントニオ市からの受入(平成30年度)

受入人員	在籍校	受入先
高校生 4名	セントアンソニーカトリック高校 インターネットワーク高校	熊本市立必由館高等学校 熊本市立千原台高等学校

(11) 学校給食(健康教育課)

ア 実施状況

(令 1.5.1 現在)

区分	種類	実施校数	児童生徒数	給食費	給食関係職員	
					栄養教諭等	給食技師
小学校	完全給食	92校	40,921人	1食単価 243円	49人	99人
中学校	完全給食	42校	18,932人	1食単価 295円	20人	12人

イ 学校給食共同調理場

(令 1.5.1 現在)

施設名(開設年月)	所在地	対象校
東共同調理場(昭48.4)	東区東町3丁目3番2号	東野中、錦ヶ丘中、東町中、桜木中
西原共同調理場(昭53.4)	東区保田窪4丁目9番1号	西原中、帯山中
城西共同調理場(昭53.4)	西区小島8丁目17番1号	城西中、三和中、県立かがやきの森支援学校
京陵共同調理場(昭54.4)	中央区京町本丁1番14号	京陵中、竜南中、白川中、藤園中
日吉共同調理場(昭54.9)	南区日吉1丁目4番50号	花陵中、江南中、江原中、力合中、平成さくら支援学校
武蔵共同調理場(昭56.4)	北区武蔵ヶ丘4丁目19番1号	武蔵中、清水中
出水南共同調理場(昭58.4)	中央区出水7丁目86番1号	出水南中、出水中、湖東中、託麻中
井芹共同調理場(平2.6)	西区上熊本3丁目28番25号	井芹中、西山中、北部中
長嶺共同調理場(平5.4)	東区長嶺南7丁目21番40号	長嶺中、二岡中、東部中
龍田共同調理場(平6.4)	北区龍田7丁目9番16号	龍田中、楠中、桜山中
城南共同調理場(平8.4)	南区八幡8丁目1番1号	城南中、日吉中、天明中
富合共同調理場(平11.3)	南区富合町清藤472番地	富合中、富合小、鮑田中
植木共同調理場(平19.3)	北区植木町広住342番地1	鹿南中、五霊中、植木北中、植木小、菱形小、桜井小

(12) 熊本市学校給食会（健康教育課）

名 称	公益財団法人 熊本市学校給食会
事務所の所在地	中央区新町2丁目4番27号 熊本市健康センター新町分室2階
設 立 年 月 日	平成8年4月2日
目 的	学校給食法に基づき学校給食の普及・充実と食育推進に寄与するため、学校給食用の物資の適正・円滑な供給に努め、もって児童生徒の心身の健全な発達に資する。
事 業	学校給食用物資の適正円滑な供給及び食育推進 <ul style="list-style-type: none">・物資購入委員会、青果物査定会、食肉査定会の開催・市産品導入の推進・特別栽培（減農薬）農産物等の導入推進・学校給食交流会の支援・学校給食用物資の生産地視察 学校給食の普及・奨励（改善・充実） <ul style="list-style-type: none">・登録業者工場視察及び学校給食用物資納入懇談会の開催・納入業者対象の食品安全衛生研修会の開催 学校給食の実施に必要な調査研究 <ul style="list-style-type: none">・学校給食用物資の定期検査及び放射能検査 その他目的を達成するために必要な事業
基 本 財 産	100,000千円

(13) 熊本市教育センター

ア 施設・設備の概要

所 在 地	中央区千葉城町2番35号
施 設 内 容	5階 機械室 4階 大研修室 3階 第1研修室 第2研修室 第3研修室 ICT支援室 2階 第4研修室 中研修室 図書・資料室 ICT研修室（ノートPC30台・タブレット型PC10台） 1階 第5研修室 第7研修室 多目的研修室 所長室 事務室 教育情報室 地階 機械室

イ 研究に関する事業

学校教育、社会教育に係る教育機関と協力し教育上必要とする調査研究等を行い、成果の普及に努める。

調査研究

① 研究員活動

本市の教育施策にもとづき、教科領域等の授業改善、今日的課題解決及び学校事務運営に関する研究に取り組み、成果を積極的に現場に提供することで熊本市教育の充実と振興に役立てる。

- ・平成28年度委嘱研究員 17部会55人（委嘱期間 平28.6～平30.8）
- ・平成30年度委嘱研究員 8部会25人（委嘱期間 平30.4～平32.8）
- ・検証授業の実施
- ・派遣研修の実施

② 研究論文・教育実践募集

教職員の研究論文・教育実践を公募することにより、今日的教育課題の先進的研究や日々の教育実践の工夫・改善を促し、教職員の資質向上及び本市教育の充実・発展を図る。また、研究や実践の成果を広め、活用することにより、本市の発展に寄与する。

- ・募集期間 令和2年（2020年）1月6日～1月10日
- ・各部門ごとに表彰を行う。

情報提供

① 資料の管理

熊本市教育センターに保管している書籍、教科書、研究紀要、指導案等の教育資料を管理し、学校現場等に貸し出すことで、学校教育及び社会教育の充実に資する。

- ・指導案、研究紀要の収集、保管、提供（データベース化）
- ・教育に関する書籍や教育資料の収集・整理及び閲覧・貸出

② 教材・機器の管理・貸出

授業における補助教材・資料の作成、学校行事等で使用する資料の作成や、授業及び学校行事等で使用する教育機器の貸出・管理、学校等における教育活動の支援を行う。

- ・拡大印刷機、カラーコピー機、ラミネート加工等による教材作成
- ・プロジェクター、スクリーン、ビデオ教材等の貸出

教科書センターに関する事業

教科書センターは、教職員に対しては、教科書の調査研究の支援、学習指導のための資料提供、教科内容の常時研究に資するため、小学校及び中学校用の教科書を備え、利用に供することを目的とする。また、市民に対しては、教科書や教科に対しての理解を深めることを目的とする。

- ・熊本県主催教科書展示会 令和元年（2019年）6月14日～6月27日

各教育研究所との連携

熊本県立教育センター、熊本県教育研究所連絡協議会、九州地区教育研究所連盟、指定都市教育研究所連盟、全国教育研究所連盟との連携を深め、研究成果を共有する。

ウ 研修に関する事業

研修を通して教職員のマネジメント力・実践的指導力・教師としての基盤の向上を目指すとともに、学校教育と家庭教育、社会教育の連携を図る。なお、教育の情報化に関する研修は、教育情報室が担当する。

○ J T 推進（現場で実際の業務を通じて学ぶ）研修

- ・研究指定校、研究モデル校、研究員活動
- ・派遣（パッケージ）研修
- ・教育情報の配信・提供
- ・授業力向上支援員派遣研修

S D（自己啓発）活性化支援研修

- ・教科等教育・実技研修（17講座）
- ・カウンセリング研修（1講座）
- ・教育の情報化研修（5講座）
- ・特別支援教育研修（4講座）
- ・トワイライト研修（25講座）
- ・教師塾「きらり」

OFF-JT（学校外）研修

・経年者研修

初任者研修（13講座） 初任校（2年目）研修（3講座）

初任校（3年目）研修（2講座） 中堅教諭等資質向上研修（9講座）

教職員1年目研修（5講座）

15年経験者研修（4講座）

新規臨任研修（5講座） 2年目臨任研修（3講座） 3年目臨任研修（2講座）「初めての学級担任」

臨任研修（2講座） 臨任研門研修【養護助教諭・学校栄養職員（臨時）】（各1講座）【幼稚園講師】（2講座）

・教育講演会（1講座）

・職能研修（14講座）

教育の情報化研修（6講座）

幼児教育研修（2講座） 新任管理職研修【校長・園長、教頭】（各6講座）

社会教育関係研修

・家庭教育研修（2講座）

エ 教育委員会の情報施策の推進に関する事業（教育情報室）

教育委員会におけるICT活用及び情報機器の整備促進を図るため、平成30年度に教育情報室を設置し、教育の情報化推進に取り組む。

教育の情報化に関すること

- ・教育の情報化推進に向けての企画調整
- ・学校におけるICT環境整備
- ・研究指定校（教育の情報化2校）による研究
- ・ICT活用研究モデル校（5校）による研究
- ・校務の情報化推進のための調査研究

研修プログラムの開発

- ・タブレット端末、電子黒板等のICTのよさを生かした授業づくり研修及び校内研修支援のためのパッケージ研修の開発
- ・情報活用能力育成のための研修の開発
- ・情報モラル教育の啓発と普及研修の開発
- ・情報モラル教育推進リーダー研修の開発

教育の情報化研修講座

- ・教育の情報化に関する研修講座の実施 ※「ウ 研修に関する事業」を担当
パッケージ研修による教科等指導におけるICT活用、児童生徒の情報活用、情報モラル教育等の校内研修支援

教育情報ネットワークの企画管理運用

- ・ネットワークの運用管理及び次期ネットワークの検討
- ・情報端末管理（教員用ノートパソコン・タブレット端末等）
- ・教育センターホームページ運営
- ・ICT支援員による授業支援、校内研修等の支援、メンテナンス

情報セキュリティ

- ・情報セキュリティ対策実施手順の適切な運用実施
- ・学校等のセキュリティ研修

(14) 令和元年度全国高等学校総合体育大会（健康教育課 全国高校総体推進室）

全国高等学校体育連盟が高校生最大のスポーツの祭典として大会を開催するもので、令和元年度は熊本・鹿児島・宮崎・沖縄の南部九州ブロックでの開催が決定している。なお、本市においては8月に剣道及び水泳（競泳）の2競技2種目を開催する。

また、この事業は教育活動の一環として高校生に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、高校生活動も含め生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成することを目的としている。

4 図書館

本市では、熊本市立図書館を中心とし、分館3館（植木図書館、城南図書館、とみあい図書館）、くまもと森都心プラザ図書館、15公民館図書室、男女共同参画センターはあもにい、議会図書室及び移動図書館による図書サービスネットワークを構築し、図書サービスの向上に努めてきた。

また、市全体での図書サービス業務の改善や取り組みの方向性を整理した「図書サービスのあり方について」を平成27年3月に策定し、より市民に利用される図書館となるよう図書サービスの向上に取り組んでいる。

主な実施事業

資料の充実：熊本市立図書館、分館、くまもと森都心プラザ図書館、公民館図書室の選書購入を一元的に行い、各図書館の機能や公民館図書室の利用傾向等を考慮した資料を収集した。

契約時期を見直し、図書購入事務を迅速化することにより、早期の図書提供を実施した。

サービスの充実：熊本連携中枢都市圏ビジョンに基づく「図書館における圏域住民の相互利用」において連携する市町村との相互利用を実施した。

視覚障がいのある人を対象に、熊本県点字図書館と協力し、対面朗読サービスを提供した。

子どもの読書推進：子どもの発達段階に応じたおはなし会・紙芝居や読書への関心を高める多様な行事を開催した。乳幼児期、小学校低学年・中学年・高学年及び中学生向けの良書を紹介した冊子等を作成・配布し、掲載図書の学校へのセット貸出等を実施した。

ア 施設

所在地 中央区大江6丁目1番74号

開館年月 昭和57年11月

施設の概要 一般閲覧室、児童室、郷土・参考資料室、移動図書館車、ホール、集会室、ロビー、学習室

イ 蔵書数

【単位：冊】（平 31.3.31 現在）

	0：総記	1：哲学	2：歴史	3：社会	4：自然	5：技術	6：産業	7：芸術
市立図書館	19,013	20,289	51,818	69,132	36,619	32,532	16,794	41,812
市立 BM	42	315	504	357	601	914	364	458
植木図書館・BM	1,055	2,635	4,860	7,892	4,481	4,701	1,957	3,924
城南・BM	1,350	4,137	6,041	10,005	8,877	8,007	3,032	7,010
とみあい	1,307	2,238	4,065	6,222	5,946	6,892	2,236	5,451
プラザ図書館	9,818	20,056	27,760	66,821	31,449	34,151	17,845	30,314
東部	349	803	1,969	1,883	2,301	2,684	672	2,006
龍田	412	845	2,547	2,423	2,674	2,664	843	2,746
託麻	462	788	2,156	2,201	2,684	2,715	844	2,707
幸田	336	772	1,886	2,109	2,323	3,254	869	2,270
中央	324	645	1,154	1,868	1,587	1,911	510	1,349
清水	419	929	2,214	2,150	2,323	2,716	797	2,639
秋津	390	1,007	2,153	2,144	2,312	2,829	762	3,054
南部	335	966	1,694	2,006	2,218	2,965	739	2,283
花園	223	705	1,937	1,499	2,105	2,656	612	2,056
北部	304	507	1,108	1,228	1,415	1,864	429	1,190
河内	276	640	1,224	1,469	1,756	2,239	691	1,734
天明	330	632	1,081	1,487	1,578	2,137	663	1,569
鮑田	489	960	1,984	2,191	2,385	3,180	1,049	2,494
西部	258	719	1,743	1,640	2,292	2,896	800	1,831
五福	162	411	869	1,070	1,234	1,674	411	1,077
はあもにい	0	0	0	1	0	0	0	0
合計	37,654	60,999	120,767	187,798	119,160	125,581	52,919	119,974
比率 (%)	2.4%	3.9%	7.7%	11.9%	7.6%	8.0%	3.4%	7.6%

※ BM・・・移動図書館

	8：語学	9：文学	F：小説	E：絵本	紙芝居	コミック	その他	総数
市立図書館	8,509	94,385	90,790	61,346	3,031	2,330	107	548,507
市立 BM	92	855	2,491	785	23	0	0	7,801
植木図書館・BM	999	7,367	14,372	9,511	709	924	0	65,387
城南・BM	2,318	10,001	17,926	9,590	243	71	12	88,620
とみあい	1,093	21,439	14	8,346	155	776	85	66,265
プラザ図書館	7,780	36,283	40,941	15,140	0	0	1,108	339,466
東部	407	4,003	7,858	7,564	34	0	0	32,533
龍田	529	5,016	7,689	5,633	0	0	0	34,021
託麻	462	5,119	7,685	5,514	0	0	0	33,337
幸田	514	4,063	9,027	5,977	91	25	2	33,518
中央	331	3,948	4,091	2,476	0	0	0	20,194
清水	383	4,493	8,805	6,263	18	1	0	34,150
秋津	395	4,770	8,613	5,599	60	5	0	34,093
南部	408	4,374	9,919	5,403	33	8	0	33,351
花園	405	4,774	9,367	5,238	270	1	0	31,848
北部	223	2,798	6,867	4,544	0	0	0	22,477
河内	295	2,684	6,707	4,132	0	8	1	23,856
天明	308	2,644	7,642	3,991	125	0	0	24,187
飽田	488	3,849	7,797	5,566	97	22	0	32,551
西部	381	3,184	8,173	5,393	83	0	0	29,393
五福	263	1,679	4,801	3,423	8	0	0	17,082
はあもにい	0	0	0	0	0	0	19,057	19,058
合計	26,583	227,728	281,575	181,434	4,980	4,171	20,372	1,571,695
比率 (%)	1.7%	14.5%	17.9%	11.5%	0.3%	0.3%	1.3%	100%

※視聴覚資料の蔵書数（13,575点）、雑誌（14,831冊）は含まない。

※その他 新聞18紙 雑誌413誌（購入のみ）

ウ 利用案内

図書の貸出

区分	貸出冊数		貸出期間	登録要件
個人貸出	熊本市立図書館 植木図書館 とみあい図書館 城南図書館 プラザ図書館 公民館図書室 はあもにい 議会図書室	全館（室）合わせて一人10冊以内	2週間	市内に居住か通勤及び図書資料の貸出に関する協定を締結している市町村にお住まいの方 登録者数 223,702人 (平成31年3月31日現在)
	移動図書館		次回巡回日まで	
団体貸出	家庭文庫、子ども会、公民館、学校等	一回に300冊まで	2ヵ月	市内の地域団体、社会教育団体、その他これらに類する団体等

視聴覚資料及び機材の利用

	対象	資料及び機材	利用方法
個人視聴	個人	ビデオソフト・DVD	1F・閲覧室で利用 (視聴覚ブース：一般席・児童席各1席)
団体貸出	市内の幼・保育園・学校・社会教育団体・地域団体等	16ミリ機材・フィルム ビデオソフト・デッキ 映写機、スクリーン 暗幕必要枚数・プロジェクター	資料：5巻以内 機材：1台 貸出期間：3日間

エ 利用状況

図書の利用状況

(平成30年度)

区分	市立図書館 (BM含)	植木図書館 (BM含)	城南図書館 (BM含)	とみあい 図書館	プラザ 図書館	公民館図書室	
						東 部	龍 田
登録者数(人)	89,482	9,927	8,339	5,424	34,431	11,080	6,868
貸出者数(人)	246,190	45,131	52,759	28,641	121,994	56,033	29,878
貸出冊数(冊)	910,542	212,684	232,068	130,774	415,206	188,580	108,843

区分	公 民 館 図 書 室							
	託 麻	幸 田	中 央	清 水	秋 津	南 部	花 園	北 部
登録者数(人)	7,877	7,293	1,977	7,562	5,461	5,590	5,127	3,288
貸出者数(人)	30,733	27,406	0	28,821	22,373	18,548	21,531	11,799
貸出冊数(冊)	122,530	102,307	0	106,446	86,558	66,003	75,866	41,356

区分	公 民 館 図 書 室					議会図書室	はあもにい	計
	河 内	天 明	飽 田	西 部	五 福			
登録者数(人)	843	1,344	2,809	6,008	1,860	0	1,112	223,702
貸出者数(人)	2,815	4,049	10,674	23,432	11,266	3,414	8,695	806,218
貸出冊数(冊)	9,767	13,146	37,809	87,768	31,963	6,536	20,948	3,007,700

視聴覚コーナー利用状況

(平成30年度)

区分	ビ デ オ	DVD	合 計
利用者数(人)	281	211	492
保有数量(枚・本)	1,281	653	1,934

視聴覚機材貸出状況

(平成30年度)

区分	16ミリ フィルム	16ミリ 映写機	ビデオ	ビデオ プレイヤー	DVD	DVD プレイヤー	プロジェク ター
利用者数 (団体)	41巻	12台	348本	16台	316本	10台	28台

5 熊本博物館

熊本博物館は、昭和27年に熊本城内に設置され、勸業館時代を経て昭和53年に現在の場所に開館した。自然科学・人文科学部門に理工部門及びプラネタリウムを加えた総合博物館として、郷土文化の発展に寄与することを目的とし、熊本に関する資料を中心に収蔵・展示を行ってきた。

平成27年7月から着手した全面改修を終え、平成30年12月1日にリニューアルオープン。詳細は以下のとおりである。

(1) 熊本博物館リニューアルの概要

ア リニューアルの目的

施設の老朽化や社会変化による展示技術の向上に伴い、博物館の展示環境を見直す必要性が求められていた。「未来へつなぐ熊本の記憶」を全体のテーマに掲げ、総合博物館としての展示構成の工夫を基本に展示スペースの拡張や各分野間融合型の展示を行い、実験・工作室等の新設空間を活用しながら体験型博物館として更なる魅力向上に努め、学校の教育活動との積極的な連携を図る。

イ 概要

① スペースの拡張

延床面積：6,108㎡ ⇒ 7,098㎡ (+990㎡)

② 展示・保存環境の改善

温湿度管理ができる特別展示室や収蔵庫の整備・拡張による展示保存環境の改善

③ 来館者サービス機能の向上

- ・音声と文字による4ヶ国語対応展示解説システム導入
- ・動画や写真を使った展示資料解説補完システムの増強
- ・プラネタリウム番組や各種イベントの案内をわかりやすく表示するデジタルサイネージ導入
- ・プラネタリウム券売機の残席表示システム導入
- ・収蔵品データベース機能の向上 など

④ 常設展示

展示内容の充実：全体テーマ「未来へつなぐ熊本の記憶」

熊本博物館の特性の一つに、半世紀を超える運営によって形成された膨大な記録・記憶の蓄積がある。そこでリニューアルした常設展示では、全体テーマを「未来へつなぐ熊本の記憶」とし、国指定重要文化財の「才園古墳出土品」と永青文庫所蔵の「細川家舟屋形」の展示など、熊本の歴史や文化、人と自然との深いかかわりを示しながら各分野間のつながりを意識した展示を行い、長い時間を経た知の蓄積を市民へ楽しくわかりやすく伝え、未来へ継承することを目指す。

また、県市連携展示室を設け、熊本県博物館ネットワークセンターが所蔵する貴重な資料も展示し、市・県内外へ展示内容の価値や魅力をアピールする。

⑤ 展示環境の改善

- ・公開承認施設（重要文化財等の展示に適した施設）を目指した改修
「温湿度管理ができる展示室の整備」
- ・三つの特別展示室の整備
重要文化財等の展示に対応した特別展示室1・2
フレキシブルな展示を行う特別展示室3

ウ 館内展示風景（常設展示）



(2) 活動状況 (平成30年度)

ア 企画展示会

(平成31.4.1現在)

展 示 会 名	期 間	観覧数 (人)
リニューアル記念展 「記憶を未来につなぐ博物館」	12/1 ~ 4/7	39,183 (※)

※無料の企画展について常設展示と同様に観覧するため、会期中の入館者とする。

平成30年12月1日から平成31年4月7日まで、特別展示室1・2・3を会場に、「記憶を未来へつなぐ博物館」をテーマに「記憶」「つなぐ」「未来」をキーワードとして時代を越えて受け継がれていく熊本博物館のあゆみと魅力を伝える展示を行った。

イ 定例展示会・共催展

展 示 会 名	期 間	参観者 (人)
「肥後しゃくやく展」(於：塚原歴史民俗資料館)	5/3 ~ 5/4	116
「地質の日 身近に知る『くまもとの大地』」(於：熊日会館びぶれす広場)	6/2	約900
肥後朝顔展 (於：水前寺成趣園内・古今伝授の間)	7/1	未集計
肥後朝顔展 秋の展示会 (於：熊本市動植物園)	9/1 ~ 9/2	未集計

ウ 教室・その他の行事 (本館主催)

行 事 名	内 容	期 日	対 象	参加者 (人)
子ども科学・ものづくり教室	「水中UFOキャッチャーを作ろう」他	4月~3月	小中学生 (一般)	1,432
部分日食観察会	熊本で観察できる部分日食の観察	1/6	一般	約150

エ 入場・プラネタリウム観覧 (H 30.12.1 ~ H 31.3.31)

		入 場 (人)	プラネタリウム観覧 (人)
有 料	個 人	一 般	15,080
		高校・大学生	1,537
		小・中学生	3,176
		未 就 学 児	—
	団 体	一 般	459
		高校・大学生	109
		小・中学生	252
		未 就 学 児	—
	年 間 入 場 券	一 般	452
		高校・大学生	20
		小・中学生	29
	小 計	一 般	15,991
高校・大学生		1,666	
小・中学生		3,457	
未 就 学 児		—	
無 料	一 般	4,653	
	高校・大学生	157	
	小・中学生	6,773	
	未 就 学 児	4,780	
総 計		37,477	24,601

(3) 資料

資料分野	資料点数
地質	20,172
動物	58,930
植物	16,766
理工	135
考古	10,224
歴史	18,138
民俗	13,558
合計	137,923

ア 人文科学関係

考古資料では、国指定重要文化財のあさぎり（旧免田）町才園古墳の出土品（寄託品）、元熊大医学部長故山崎正董博士の古瓦コレクションなどがある。歴史資料では、加藤清正関係資料、細川氏関係資料のほか、近世期古文書類、西南戦争関係資料などがある。美術工芸資料では、重要文化財の木造東陵永瑠禅師倚像（管理団体：熊本市）などがある。民俗資料では、元熊本商大学長故丸山学氏の寄贈資料をはじめ県内各地から幅広く民具を収集している。

イ 自然科学関係

岩石・鉱物資料では、元熊大教授故松本唯一博士が全世界から採集されたコレクションがある。貝類では元熊大医学部長故山崎正董博士のコレクションがある。昆虫では故古賀三郎氏の世界の蝶コレクションがある。

また、哺乳類・鳥類・魚類・昆虫・植物・古生物化石類など、熊本県産の実物標本を中心とした資料がある。

ウ 理工学関係

屋外展示場に、9600形蒸気機関車（69665号機）の実物がある。

エ プラネタリウム

ドーム直径16m、座席数180席、光学式プラネタリウム「クロノスⅡ」と全天周映像システム「バーチャリウムⅡ」の組み合わせにより、自然の星空を忠実に再現するほか、遠い宇宙の果てまでの姿を観測データを基に高精細に描き出す。また、ドームいっぱいに大迫力の映像を投映する。